

令和4年8月29日 桜川小学校 第2学期始業式 校長講話

- それでは、いつものように、相手に伝わる気持ちの良い挨拶をしましょう。
桜っ子の皆さん、おはようございます。
- 39日間の夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。朝、門のところで、桜っ子の皆さんが笑顔を見せてくれて、気持ちの良いあいさつをしてくれて、とてもうれしかったです。そんな姿を見て、皆さんが大きな事故などにあわず、病気・けがなどをせずに、充実した夏休みを過ごしたこと、心も体も、大きく成長したことを感じることができました。そして、こうしてまた学校に、桜っ子と先生方全員が集まることができ、幸せだなと感じています。
- 去年、おととしの「2学期のはじまり」のことを思い返してみると、そのことをより強く感じます。おととしは今年の半分ほどの20日間しか夏休みがなく、8月21日が「2学期のはじまり」でした。去年は、夏休みの日数こそ今年と同じぐらいでしたが、「2学期のはじまり」は（各クラス半分ずつの）分散登校で、全員が学校に集まったのは、9月の半ばでした。
- それに比べれば、今年の「2学期のはじまり」はとても幸せだなと感じるわけですが、新型コロナの感染者数だけを見れば、去年やおととしの比ではないぐらい多い状態が続いています。引き続き、手洗いや消毒、密を避ける、換気、必要に応じたマスクの着用など、基本的な感染防止対策をしながら、生活をしていかなければなりません。あと少し、我慢の日々は続きますが、自分と自分の周りの人を守るためにも、みんなで頑張っていきましょう。
- さて、2学期は1年間で「一番長い学期」であるとともに、気候的に「学習にも運動にもちょうどよい」季節でもあります。また、体育発表会や持久走大会、6年生の修学旅行や各学年の校外学習、ドリーム集会など、皆さんが成長できる「学校行事」がたくさんあります。学習、運動、行事などを通して、皆さんがよりよく成長できるよう、2つのことにぜひ取り組んでほしいと思います。

○1つ目は、「物事を前向きに考える」ことです。例えば、2学期のはじまりにあたって、「毎日、校庭を3周走る」という目標を立てたとします。同じ「3周走る」のなら、「疲れるからやだな、めんどくさいな」と思いながらよりも、「毎日走ることによって体力がつくから、がんばろう」「持久走大会でいいタイムを出したいからがんばるぞ」と思いながら走る方が絶対に本人のためになるはずです。このように、物事を前向きに考えて、何ごとにも取り組むようにしていきましょう。

○そして、もう1つですが、「感謝の心を持つこと」「『ありがとう』ときちんと言えること」です。最初に話したように、みんなが学校に集まれる今の状況は幸せなことですが、これは「当たり前」のことではありません。周りのいろいろな人や物のおかげであることに感謝し、きちんと言葉で「ありがとう」と言える人になってほしいです。家族や友達など、それが身近であればあるほど、「当たり前」に感じて、「感謝の心」を忘れてしまったり、「ありがとう」と素直に言えなかったりしがちですが、ぜひ、「感謝」と「ありがとう」を忘れない2学期にしてほしいと思います。

○先ほど4年生の さんが「2学期にがんばりたいこと」の発表をしてくれました。素晴らしい発表でしたね。

皆さんも、 さんと同じように、しっかりとめあてを持ち、それを達成できるように頑張ること、また、そのために「前向きに取り組むこと」「感謝の心を持ち、ありがとうが言えること」を心から期待しています。

○みんなで、頑張っていきましょう。

これで、校長先生のお話を終わりにします。